

談話室

西播磨テクノポリス印象記

—21世紀への予感—

野田 幸男

千葉大学理学部

SPring-8の利用者懇談会設立総会が西播磨テクノポリスに新設された先端科学技術支援センターで開催された。そのおりに、SPring-8の建設現場を見学する機会があった。さっそく、放射光学会誌から「印象記」を書くようにとの依頼がやってきた。一つの理由は、2年前に建設現場の印象記を「次世代大型X線光源研究会サーキュラーNo.14(1991)15」に書いたせいであろう。それは、新設された姫路工大の理学部で行った世話人会の時のものだったが、そういう意味では「印象記その後」ということになってしまう。ただ、別の雑誌でもあることだし、現地をまだ見ておられない方も多いことと思われるので、実況という意味も込めてここで再度書かせていただくことにする。

そもそもこの地を最初にみたのはもう10年近くも前で、まだ「関西6GeV研究会」などといって西播磨も候補地の一つという段階であった。今と違って南からの道はなく北の中国自動車道の近くから入って来るのだが、車で近寄れるのは今のテクノポリスのはるか北にある牧場までであった。そこからながめたのは、はるか南につながる丘また丘の土地で、唯一の人工物が猪よけの柵というありさまであった。あんな土地を本当に造成してテクノポリスを作るのだろうか、それが偽らざる思いであったような記憶がある。2年前の印象

は、造成地の広大さと立派な姫工の建物に関するものであった。今回の設立総会が開かれた支援センターにも前回の姫工の建物と同様に度胆を抜かれるほど感心した。まだゴルフ場しかないこの地にこのような立派な建物を立てるとは、兵庫県の意気込みがいやが上にも感じさせられる。設立総会そのものは130名以上の参加で盛会であったが、それはさておき皆様をSPring-8の建設現場にさっそく案内しよう。

案内のバスはダンプカーの後ろにつきながら荒涼たる建設現場に入っていく。2年たっても相も変わらず馬鹿でかい敷地に何も無いがその下には着々と施設が埋め込まれている様子だ。ついたところは大きな白い建物である。中にはいるとこれまた馬鹿でかい倉庫といった感じだ。ビームライン取り出し口の穴が紛れもなく放射光施設であることを示している。丁寧に案内してもらいながら、「ここがビームラインで埋まる時にはどうしてもっと大きな建物にしなかったのかと批判されるだろうな」と思いながら大きな体育館の中を見て回る。建て屋は10%程度出来ているそうだが説明では9%と盛んに強調していた。床には倉庫代わりとして4極と6極マグネットが100個、200個とずらりと並べられているのが非常に印象的であった。これだけでも見る価値は十分にある。

このように書きながら、実はその時にもまだ

SPring-8の本当の大きさを実感していなかったことが後で空中写真を見て分かったのが正直なところである。この文章を読んでいる皆様の頭の中にある建物のイメージも多分小さすぎることでしょう。ちょっと机の上でシミュレーションしてみましょう。まず紙の上に円を描きそれに内接する正方形を描いて下さい。この正方形の一辺はおよそ320メートルです。円の中心が三原栗山で正方形のところが山のすそのを削り取ったところです。円周のところがはちまき状にリングになります。この円周の1割、いや9%が今見ている建物です。紙に描いた正方形の一辺が90度ですからその三分の一に建物の絵を描いて下さい。そうです、まだ建物は円として曲がっていないのも同然なのです。なんと気の遠くなるような規模でしょうか。

総会では盛んにSPring-8は「ついている」と言

われた。こんな大規模な計画がこんなに早く実現することは珍しいと。それに、バブルの時に立派な計画を作ってバブル崩壊後の不況の時に工事をするとは。おかげで、21世紀を待たずに光が出て来ることになったわけである。

帰りには、神戸垂水の実家に立ち寄るために在来線にのった。舞子の浜には大きな2本の柱が建っているのが見える。明石海峡大橋の支柱が知らぬ間にそびえ立っているのだ。この浜では高校の時によく泳いだものだがその時には気象観測のための鉄塔だけがこの計画を示すものであった。すでにそれからでも30年が経っており、夢の吊り橋も親子2代の工事でやっと目の前に出現したことになる。西播磨にも明石にも瀬戸のあちこちで、21世紀は確実にその足音を響かせながら目の前に近づいてきていた。

バックナンバー紹介

講演会テキスト

放射光フォーラム '93 「放射光が拓くミクロの世界」

主 催 日本放射光学会

体 裁 B5判, 116頁 定 価 2,000円 (送料込)

内 容

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. X線光学概論 | 青木貞雄 (筑波大学物理工学系) |
| 2. X線顕微鏡装置 | 安藤正海 (高エ研PF) |
| 3. X線顕微鏡の応用 (生物観察) | 篠原邦夫 (都臨床医学総合研) |
| 4. LIGA マイクロマシン加工 | W. Menz (独カールスルーエ研) |
| 5. X線望遠鏡光学 (宇宙観察) | 山下廣順 (宇宙研) |
| 6. マイクロビーム (分析への応用) | 二宮 健 (日立中研) |
| 7. X線縮小露光 (超々LSI) | 木下博雄 (NTT LSI研) |

申込先 日本放射光学会事務局 〒112 文京区小石川2-3-4 川田ビル アイオニクス(株)内
TEL 03-3812-0920 FAX 03-3812-3997